（様式１）

令和５年　　月　　日

木構造振興（株）　代表取締役　山田　壽夫　殿

（公財）日本住宅・木材技術センター　理事長　古久保　英嗣　殿

中大木造建築普及加速化プロジェクト事業　提案申請書

プロジェクト名

提案者（会社・代表者）

（様式２）

提案概要（Ａ４・３枚）

|  |  |
| --- | --- |
| １．プロジェクト名 |  |
| ２．応募者名（提案の実施予定者） | 名称 |  |
| 代表者名 |  |
| 住所 | 〒 -  |
| 電話番号 |  |
| ３．担当者（連絡の窓口となる方） | 会社名・部署名等 |  |
| 住所 |  |
| 担当者名 |  |
| 電話番号 |  | Fax番号 |  |
| E-mail |  |
| ４．提案チームのメンバー(検討支援枠に係る提案に限る。※は必須) | 技術指導者※ |  |
| 意匠設計者※ |  |
| 構造設計者※ |  |
| 施工者 |  |
| 木質材料供給者※ |  |
| 木質材料加工者 |  |
| その他材料供給者 |  |
| ５．応募者に関する確認事項 | ・過去３カ年以内に国土交通省住宅局又は林野庁林政部所管事業補助金において、交付決定の取消に相当する理由で補助金の返還を求められたこと（[ ] 該当有　[ ] 該当無）・暴力団又は暴力団員であること、ないしは、暴力団又は暴力団員と不適切な関係にあること（[ ] 該当有　[ ] 該当無） |
| ６．対象用途 | [ ] 事務所　、[ ] 共同住宅　 |
| ７．標準構法名称（仮） |  |
| ８．標準構法の概要全体構造システムに関するアイソメ図のほか、軸組接合部に係る詳細図等適宜参考図書を追加すること。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ９．提案の大分類該当する枠組に〇を付けてください。その他の場合は記入して下さい。1. 提案する構法を以下より選択

　　　　[ ] 木造ラーメン方式　　　[ ] 木造耐力壁方式　　　[ ] 両方式の併用（２）使用する各部の材料

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 製材中小断面集成材 | 大断面集成材 | LVL | CLT | その他記入下さい |
| 柱 |  |  |  |  |  |
| 梁 |  |  |  |  |  |
| 耐力壁 |  |  |  |  |  |
| 床 |  |  |  |  |  |

 |
| １０．耐力要素を構成する木質材料・寸法等 |
| １１．当該工法のオープン化の程度およびその方法 |
| １２．川中（構造材の供給）との連携方針等 |
| １３．構造材及びその加工についての容易性についての説明 |
| １４．施工の容易性についての説明 |
| １５．コストについての説明（将来的な目標棟数やそれに伴うコスト縮減などの目算を含む） |
| １６．想定する防耐火手法 |
| １７．想定する構造設計ルート及び構造設計のために整備が必要と思われる検討事項・整備事項 |
| １８．想定される木部が現しとなる部分 |
| １９．当該標準構法の普及に関して地域性が存在する場合の説明使用する木質材料、使用樹種、加工場など、材料および生産システムにおいて地域差が存在する場合は、その説明を行う。例えば、ある限定した地域の生産システムを利用するのであれば、遠方まで輸送しなくてはいけない場合はコスト面では不利であるが、あるエリアでは高い競争力があるなど。 |
| ２０．検討段階のものについて2025年度を目途とする検討スケジュール提案内容のうち検討段階にあるものについては、現状の到達点、残された課題、今後のスケジュールについて説明を行う。 |

（様式３）

支援が必要な検討事項一覧

|  |  |
| --- | --- |
| プロジェクト名 |  |
| １８―１．支援が必要な検討事項（その１）1. 現状（既にある程度の検討が進んでいる場合にはその内容）
2. 検討内容（解析や実験等の概要、達成の難易度、必要に応じ参考図書を添付すること）

（３）検討に必要な費用（内訳を記載すること） |
| １８―２．支援が必要な検討事項（その２）（１） 現状（既にある程度の検討が進んでいる場合にはその内容）（２） 検討内容（解析や実験等の概要、達成の難易度、必要に応じ参考図書を添付すること）（３）検討に必要な費用（内訳を記載すること） |
| １８―３．支援が必要な検討事項（その３）（１） 現状（既にある程度の検討が進んでいる場合にはその内容）（２） 検討内容（解析や実験等の概要、達成の難易度、必要に応じ参考図書を添付すること）（３）検討に必要な費用（内訳を記載すること） |